大王谷学園中等部 8年生 「14歳のよのなか挑戦」 実施計画

平成29年9月5日
日向市キャリア教育支援センター

1. 実施日時 10月24日(火)～26日(木) (3日間)

2. 対象生徒 3クラス、106名

3. 趣 旨

- 1) 「地域をあげて子供たちを育てる街」をめざしていく。
中学生の「職場体験」(現在は2日間で実施)を、将来的には5日間をめざし、先ず大王谷学園において3日間に延長し、来年度は4日間をめざして取り組む。
- 2) 「社会で働く(仕事をする)」ということを学び体験することで、中学生の時に将来を真剣に考え、大きく成長していける機会になる。
- 3) 「地域の魅力と課題」を、多様な大人から聞くことで、進学や就職で地域外に出ても、将来はこの地域に住み続けたいと思う子供たちを育てるきっかけになる。

4. これまでの「職場体験」との違い

- ・これまで、とりあえず「仕事を知る」ことに主眼が置かれ、「何でもいいから経験させてほしい」というケースも多くみられたが、今回は、「普段通りの仕事を、可能な範囲で経験させてほしい」、「許される範囲で、失敗も経験させてほしい」。
(「中学生」として受け入れるのではなく、「新入社員」(無償のアルバイト)に近い形で受け入れていただけるとありがたい。)
- ・社会体験の効果を高めるために、学校では「事前学習」と「事後学習」に今まで以上に力を入れて取り組もうと計画している。

5. 目 的

- 1) 今の学び(勉強・生活など)が、将来につながることを実感することで、今後の学習への意欲向上を図る。ひいては、それが学力向上にもつながる。
- 2) 受動的な体験活動から、能動的な体験活動への変革を図り、主体的な学びへとつなげる。
- 3) 社会で働く(仕事をする)ということを学び、体験することで、中学生の時に将来を真剣に考える機会とする。(地域の魅力を知ることができる)

6. 社会体験で伝えてほしいポイント (学校から受入れ事業所にお願いすること)

- (1) 真剣に仕事に向き合う姿を見せる
普段通りの働いている姿を見せ、真剣に働く様子を感じさせてください。
どういう思いで仕事をしているか、働く大人の気持ちに気づかせ、また大人の働く姿から、働くとはどういうことなのかを考えさせることが、この体験にねらいです。
- (2) 何のために働くのかを伝える
働くということは、生活するお金を稼ぐためだけではなく、仕事を通して様々な経験が自分の

成長につながることを、そして自分がやりたいことだけをするのが仕事ではなく、誰かのためになることをするのも仕事であることを教えていただきたい。

(3) どんな仕事にも意味があることを伝える

体験を通して、「働くとは何か」を考えさせるのが目的です。

体験させることができる仕事は、「雑用」「補助」と呼ばれるものかもしれません。

しかし、そうした仕事も大切な「仕事」であり、誰かの仕事につながっていること、役に立っていることを教えてください。

(4) チームワークの大切さを伝える

仕事には、一人で行う業務はもちろん、チームや仲間で行う業務も多くあります。

周りの人との協議や「報告・連絡・相談」などを生徒に求めることで、生徒は普段学校で学んでいる「チームワーク」の大切さを再認識することができます。

(5) 人間性を高めることの大事さに気付かせる

社会のルールやマナー・エチケットを体験することで、一人前の社会人・職業人になるには何が必要かに気付くことができる。

親や先生以外の大人から、仕事に真剣に向き合う姿や生き方を学ぶことで、いいかげんでは社会では通用しないことに気付くことができると思います。

7. これまでの主な検討経緯

(1) プロジェクトメンバーによる、検討会議

- ・学校 飯干、溝口、岩崎、長友
- ・商工会議所 黒木、 支援センター 水永
 - ・ 3月13日 第一回 済
 - ・ 3月17日 第二回 済
 - ・ 4月10日 第三回 済
 - ・ 4月25日 第四回 済
 - ・ 5月 8日 第五回 済
 - ・ 5月17日 第六回 済

(2) 5月24日(水) 18:30~21:00 マスコミ3社と学校先生方との意見交換会・懇親会①

- ・宮日新聞日向支局(支局長、記者)、
夕刊デイリー新聞社日向支社(支社長)
ワイワイテレビ日向支社(記者2名)
大王谷学園中等部先生(12名)
日向商工会議所 黒木専務
日向市キャリア教育支援センター(水永、寺町) 総勢20名参加

(3) 5月31日(水) 18:30~20:15 社会体験学習 意見交換会 ② <宮日新聞6/4掲載>

- ・受入れ予定企業から18社が参加
- ・大王谷学園中等部先生 7名参加
- ・日向商工会議所 黒木専務、 日向市キャリア教育支援センター(水永、寺町)
総勢28名参加

(4) 7月5日(水)～7日(金) 富山県 「14歳の挑戦」を視察

- ・参加者 大王谷学園中等部 初等部(富永副校長、加塩)、中等部(飯干、緒方)
日向商工会議所 黒木専務、水永 総勢6名
- ・5日(水) 14時～ 福井県坂井市丸岡南中学校、
福井大学教職大学院 三田村教授
17時～ 福井商工会議所 青年部
- 6日(木) 午前 富山市 芝園小学校、芝園中学校
午前・午後 「14歳の挑戦」視察
(富山第一ホテル、富山消防署、大阪屋ショップ)
午後 富山市教育委員会
- 7日(金) 午前 富山県教育委員会

(5) 8月10日(木) 18:30～19:30 協力事業所の会発会式 ③ <宮日新聞8/13掲載>

- ・『「14歳のよのなか挑戦」協力事業所の会』
会長 高木さん(マルイチ)
事務局 日向商工会議所、日向商工会議所青年部、日向市キャリア教育支援センター
- ・日向市内に加えて、延岡市(機械技術センター)の16社が参加
- ・大王谷学園中等部の先生4名参加 総勢24名参加

8. 受け入れ協力事業所

<日向商工会議所による協力事業所の会> *上記の会に参加いただいた会合は白抜き(ex.①)

1. 株式会社 マルイチ	(販売・外食・サービス業)	1、②、③
2. ミツイシ 株式会社	(販売・外食・サービス業)(基石製造)	1、②、③
3. 有限会社 天領うどん本店	(販売・外食・サービス業)	1、②、3
4. 株式会社 喜重会館	(販売・外食・サービス業)	1、②、3
5. Sweet Soul	(販売・外食・サービス業)	1、②、③
6. 中村眞税理士事務所	(販売・外食・サービス業)	1、②、③
7. 社会福祉法人ひまわり会「永寿園」	(医療・福祉)	1、②、③
8. 日向市社会福祉協議会	(医療・福祉)	1、②、③
9. 認定こども園 伊勢ヶ浜保育園	(学校・教育支援)	1、②、3
10. 社会福祉法人富高福祉会 富高保育園	(学校・教育支援)	1、2、③
11. 株式会社 内山建設	(製造・建設・エネルギー・運輸業)	1、②、3
12. 株式会社 創建	(製造・建設・エネルギー・運輸業)	1、②、③
13. 株式会社 日向中島鉄工所	(製造・建設・エネルギー・運輸業)	1、②、3
14. 九州電力株式会社 日向営業所	(製造・建設・エネルギー・運輸業)	1、2、③
15. 旭化成株式会社 日向事務所	(製造・建設・エネルギー・運輸業)	1、②、3
16. 八興自動車整備 株式会社	(製造・建設・エネルギー・運輸業)	1、②、③
17. 株式会社 日向衛生公社	(製造・建設・エネルギー・運輸業)	1、②、3
18. 耳川広域森林組合	(農林水産業)	1、②、③
19. 宮崎県機械技術センター(延岡市)	(行政・公務)	1、2、③
20. 日向市消防本部	(行政・公務)	1、2、3
21. 日向海上保安署	(行政・公務)	1、2、③
22. 日向市産業支援センター ひむか Biz	(行政・公務)	1、②、③
23. 宮崎日々新聞社 日向支局	(メディア)	①、②、③
24. 夕刊デイリー新聞社 日向支社	(メディア)	①、2、③
25. ケーブルメディア ワイワイ日向	(メディア)	①、②、3

<学校にて独自に確保された事業所>

1. 日吉だんご (販売・外食・サービス業)
2. 虹工房 (販売・外食・サービス業) (看板製作)
3. ノア美容室 (販売・外食・サービス業)
宮崎サザンビューティ美容専門学校 (宮崎市)
4. ヤマダ電気 日向店 (販売・外食・サービス業)
5. ホームワイド 財光寺店 (販売・外食・サービス業)
6. マルセイ電器 (販売・外食・サービス業)
7. コープみやざき 財光寺店 (販売・外食・サービス業)
8. ながの屋 (販売・外食・サービス業)
9. ユニクロ (販売・外食・サービス業)
10. 清香堂 (販売・外食・サービス業) (洋菓子)
11. ファッションしまむら (販売・外食・サービス業)
12. 華りん (販売・外食・サービス業)
13. 明林堂 イオン日向店 (販売・外食・サービス業) (書店)
14. ベーカリー アリエッタ (販売・外食・サービス業) (パン屋)
15. クランベリー (販売・外食・サービス業)
16. 福丸縁 (販売・外食・サービス業)
17. 大浜石油 (販売・外食・サービス業)
18. ベルフォート日向 (販売・外食・サービス業) (ホテル)
19. メリッサ (販売・外食・サービス業) (ホテル)
20. 済生会 日向病院 (医療・福祉)
21. 大王谷スカイホーム (医療・福祉)
22. JA日向 福祉センター (医療・福祉)
23. なないろ保育園 (学校・教育支援)
24. 大王谷保育園 (学校・教育支援)
25. 日向保育園 (学校・教育支援)
26. 旭建設 (製造・建設・エネルギー・運輸業)
27. 日向市立図書館 (行政・公務)
28. 日向市役所 環境政策課 (行政・公務)

9. 今後の主な検討課題

(1) 生徒の体験事業所の決定

- ・「将来なりたい職業」アンケートを実施した結果、66名が回答、42名は白紙であった。
これを一つの参考に、体験先は生徒の希望を聞く形ではなく、教師サイドで決定する。

(2) 受け入れ事業所への正式依頼

- ・「学校長、商工会議所、協力事業所の会、支援センター」の連名による依頼文（飯干先生作成）を持って、先生方が分担して、各事業所へ訪問し依頼する
- ・先生方の担当事業所の分担表（別紙）
- ・今回の趣旨、具体的な受入れ計画内容などについて意見・要望等を伝える
- ・9月中旬までに実施

(3) モデル事業所の社会体験内容の検討

1) マルイチ	(小売業)	学校(飯干、上妻)	、センター(水永)
		⇒ 9月14日(木) 17:00	(於: マルイチ)
2) 内山建設	(建設業)	学校(溝口、藤野)	、センター(富山)
		⇒ 9月11日(月) 11:30	(於: 商工会議所)
3) 永寿園	(老人介護施設)	学校(浜田、黒木由)	センター(水永)
		⇒ 9月11日(月) 17:00	(於: 永寿園)
4) 富高保育園	(保育園)	学校(緒方、松本)	、センター(寺町)
		⇒ 9月8日(金) 16:30	(於: 富高保育園)

- ・事業所、学校、支援センターの3者で意見交換・協議・検討して、受入れ計画案を策定する
(支援センターが事務局を務める)
- ・9月の早い時期に他の事業所に参考として提示する

(4) メディア3社での社会体験テーマを「取材と報道」とし、

担当の先生方がメディア各社を訪問し打合せを行う

- ・他の仲間たちの社会体験の様子を取材し、ストーリーをつくり、ドキュメンタリーにまとめて、のちほど学校で発表する
- ・新聞社では「新聞」の形式で、テレビでは「番組」の形式で

(5) 諸資料、PR資料等の作成

- 1) 生徒向けの「しおり」の作成 (緒方先生)
- 2) 事業所、保護者、地域一般向けの「PRリーフレット」の作成 (A-3裏表) (水永)
- 3) 腕章の作成 (黒木専務)
- 4) PRパンフ デザイン (黒木専務)
- 5) 「インターンシップ・ボランティア等体験活動保険」(損保ジャパン日本興亜)への加入 (1名250円 × 106名 = 26,500円) *期間1年間
- 6) 遠隔地(延岡市、宮崎市)への交通費の補助
- 7) NHKテレビ宮崎放送局 清さんへの連絡 (取材依頼)

10. 今後の事前学習等の実施計画

(1) 大王谷学園中等部 8年生 「14歳のよのなか挑戦」事前学習(1)

9月12日(火) 14:10~16:00(2時限) オリエンテーション

- ・「社会体験」の意義について 講師 水永正憲 (30分程度)
- ・先生からの説明や問題提起
- ・生徒同士によるグループワーク

(2) 大王谷学園中等部 8年生 「14歳のよのなか挑戦」事前学習(2)

9月26日(火) 14:10~15:00 職業人「よのなか教室」

- ・社会体験に備えて、「職業人講話」、3グループに分かれて2人の講師から話を聞く
- ・講話1 20分
- 移動(入れ替り) 5分
- 講話2 20分
- まとめ 5分
- ・「よのなか先生」
1. ()
2. ()
3. ()

(3) 大王谷学園中等部 8年生 「14歳のよのなか挑戦」事前学習(3)

10月3日(火) 14:10~16:00(2時限) マナー「よのなか教室」

- ・社会体験に備えて、マナー講座
- ・講師 大山由美さん(ビジネスマナー インストラクター)

(4) 大王谷学園中等部 8年生 「14歳のよのなか挑戦」事前学習(4)

9月19日(火) 15:10~16:00 「 」

10月17日(火) 14:10~16:00(2時限) 「 」

10月23日(火) 15:10~16:00 「 」

(4) 大王谷学園中等部 7年生 「ステキな大人発見 教えて!社会の魅力」 (3クラス、93名)

10月25日(水) 11:00~12:00

- ・参加人数 数人単位で
- ・具体的な内容
 - ・職場の方の仕事ぶりをビデオやカメラで撮影し、その後インタビューを行う。
 - ・「社会体験活動」を行っている8年生に、インタビューを行う。

以 上